

# 横浜のスーパーで水産物販売

## 浜田市が常設ブース

### マルエツと 共同 産品販路拡大狙う



浜田市と共同で水産加工品の常設ブースを店内に設けるスーパー「マルエツ」の井土ヶ谷店（横浜市南区）（同社提供）

浜田市は、首都圏で約300店を展開する大手スーパー「マルエツ」（本社・東京都豊島区）と共同で、11日から横浜市南区にある同スーパーの井土ヶ谷店に、浜田産の水産加工品を販売する常設ブースを設ける。浜田港の魚を首都圏でPRするとともに、今後、魚以外の浜田産品の販路拡大につなげる狙いがある。

浜田市と、水産物全般を

マルエツと浜田市による

取り扱う本田商店（浜田市松原町）、商品開発や販路

と、11日に同店で開かれる催事に3者が再度出展する

開拓を手掛けるSSビジネススクリエイト研究所（千葉

のに合わせ、店内の鮮魚コーナーの冷蔵棚の一角に幅

県習志野市）の3者が昨年11月、同店であった水産物

約60坪の常設ブースを設ける。本田商店が製造してい

関連の催事に共同で鮮魚や干物などを出展したのがき

る浜田ブランド「どんちっち三魚」（アジ、ノドグロ、

っかけで、常設ブースの設置が決まった。

カレイ）の干物などを販売する計画という。

同市産業振興課の竹中博文課長は「単発の催事だけで終わらせず、浜田産品の定番化を目指す」と強調。「店の要望をくみ取り、水産物の売り上げ増加につなげながら、浜田の農産品なども積極的に提案し、他店舗にも取り扱いを拡大させたい」と意欲を示した。

マルエツ商品本部鮮魚部の菅原勝彦マーチャンダイ

ザーは「浜田産の魚は首都圏ではあまりなじみがないので、お客さんの反応が楽しみ。売り場の活性化につながれば良い」と期待を寄せた。